

旅行取扱状況の概観（平成28年10月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比77.0%、学生団体は同85.0%と前年を下回り、団体旅行合計で同79.6%と前年を下回った。企画旅行については前年比93.5%、個人旅行については同89.0%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比88.4%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比109.1%と前年を上回ったが、学生団体は同76.9%と前年を下回り、団体旅行合計で同86.5%と前年を下回った。企画旅行については前年比89.7%、個人旅行については同89.7%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比88.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比151.9%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の10月の総取扱額は前年比90.4%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は前年実施の大型の周年旅行などの影響により、前年比75.7%と前年下回り、学生団体は修学旅行などの取扱人数の減少により、同85.0%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で同78.7%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は宗教法人の団体参拝などの取扱の増加により、前年比108.8%と前年を上回ったが、学生団体は修学旅行などの取扱人数の減少により、同76.9%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行合計で同86.3%と前年を下回った。

外国人旅行は前年比153.1%と前年を大きく上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、伊勢志摩や信州、北海道、中国四国方面は前年を上回ったが、その他の方面は前年を下回り取扱額で前年比86.5%と前年を下回った。

ホリデイについては、テロ等の影響が続いており、ヨーロッパ方面は引き続き不調、方面別取扱人数の状況では、アジア、オセアニア、アメリカ方面が前年を上回ったが、その他の方面は前年を下回り取扱額で前年比98.2%と前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、アジアや南アフリカ方面は好調であったが、ヨーロッパを中心にテロの影響が続いており、前年比95.7%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道方面が好調であったが、北陸、関西、東海方面が不振であり、前年比88.5%と前年を下回った。

バス旅行部門は、全体的に伸び悩み、前年比89.3%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、国内旅行は堅調に推移したが、テロの影響により海外旅行が不振であり、前年比98.0%と前年を下回った。